

新東消防署 工事風景 2 巻目

新東消防署 竣工までの工事風景

○ 完成予想図



○ 令和 8 年（2026年）4 月 8 日撮影

工事全景（パノラマモードで撮影）



1 階の様子を一部公開します！（内装がないので、イメージしにくいですが・・・）
写真左は、玄関ホールにあるエレベーター
写真右は、消防団の消防車（まもるん）と業務で使う普通車用の車庫



3階部分の工事の様子です。3階は事務室や会議室になる予定です。今はまだ、天井なし、内装なしのワイルドな状態なので、完成したらどんな感じになるのか、楽しみです。



3階内壁の型枠と4階を支える柱の型枠工事の様子



○ 令和8年（2026年）5月13日撮影

工事全景（パノラマモードで撮影）



【1階の様子】

写真部分は消防職員が火災現場で着る消防服のロッカーが設置される場所になります。

1階は、ダクトや配線の工事が始まっております。



これまで、仮設の階段で上階に上がっていましたが、1階から2階の階段がついに出来上がり、記念すべき「階段のぼり初め」を行ってきました！



⇐ 職員が主に使用する階段部分

現庁舎の階段は昭和40年代の設計思想で作られたため、急こう配で段差が高いですが、新庁舎はこう配が緩く、段差も低いため足腰の負担も軽減されます。

令和の設計思想に感謝です。

【2階の様子】



2階は主に24時間体制で勤務する消防職員の居住部分となります。

こちらは、職員が仮眠するスペースになります。

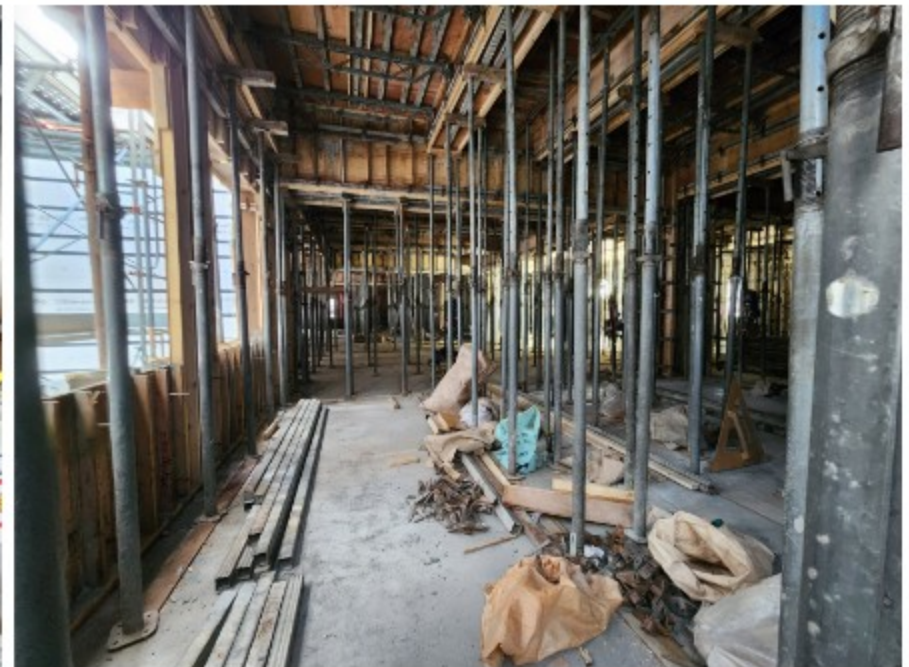
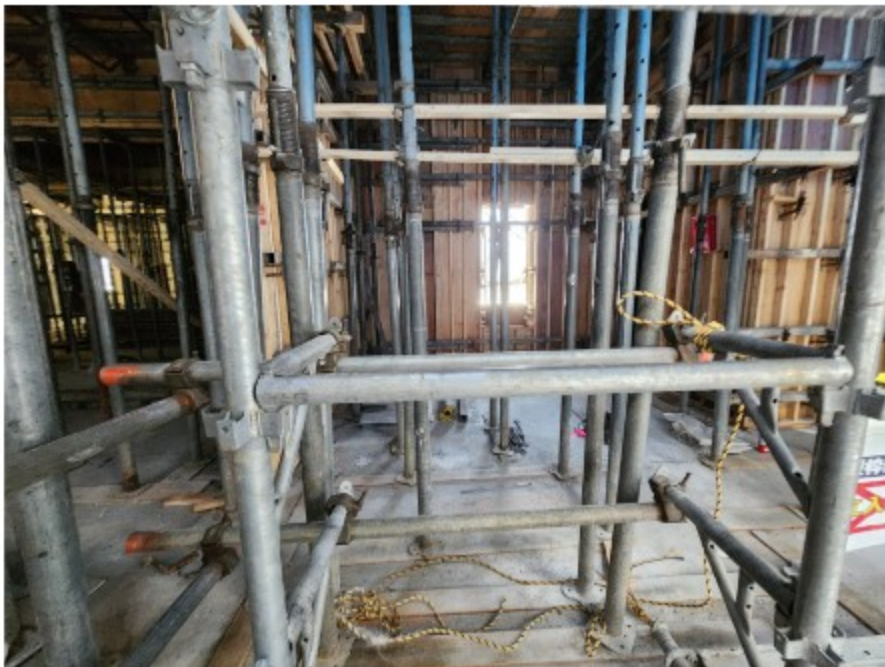
現時点では、まだ仕切られてませんが、これから壁が作られ、個室ブースができる予定です。



こちらは、様々な資機材を保管する「資機材庫」になる予定です。

【3階の様子】

以前の撮影では青空が見えていましたが、現在は型枠解体工事中です！
今回は立入制限され、詳細は撮影できてません。



【4階の様子】

初公開の4階部分です！

現在は柱・内壁枠工事が行われておりますが、ついに4階建ての全景が明らかになりました。4階は講堂になる予定です。

なんとっ！その高さは、目の前を走る高速道路（札樽道）よりも高い位置になりますので、見晴らしはよさそうですね。



【📷 オフショット 📷】

今回は東消防署の幹部4名が建築の様子を見学しました。

⇐ 真剣な面持ちで、4階の出来上がりイメージを図面を見ながら確認しています。

○ 令和8年（2026年）6月12日撮影

【新庁舎正面全景】

全面、シートに覆われていますが、外観のシルエットが浮かび上がってきました！



【階段ホール全景】

4階まで続く階段ホールを外から撮影しました。まだ階段は未施工です。正面玄関（右端）はシートに覆われて入れないため、今はシートがめくれている部分から出入りします。



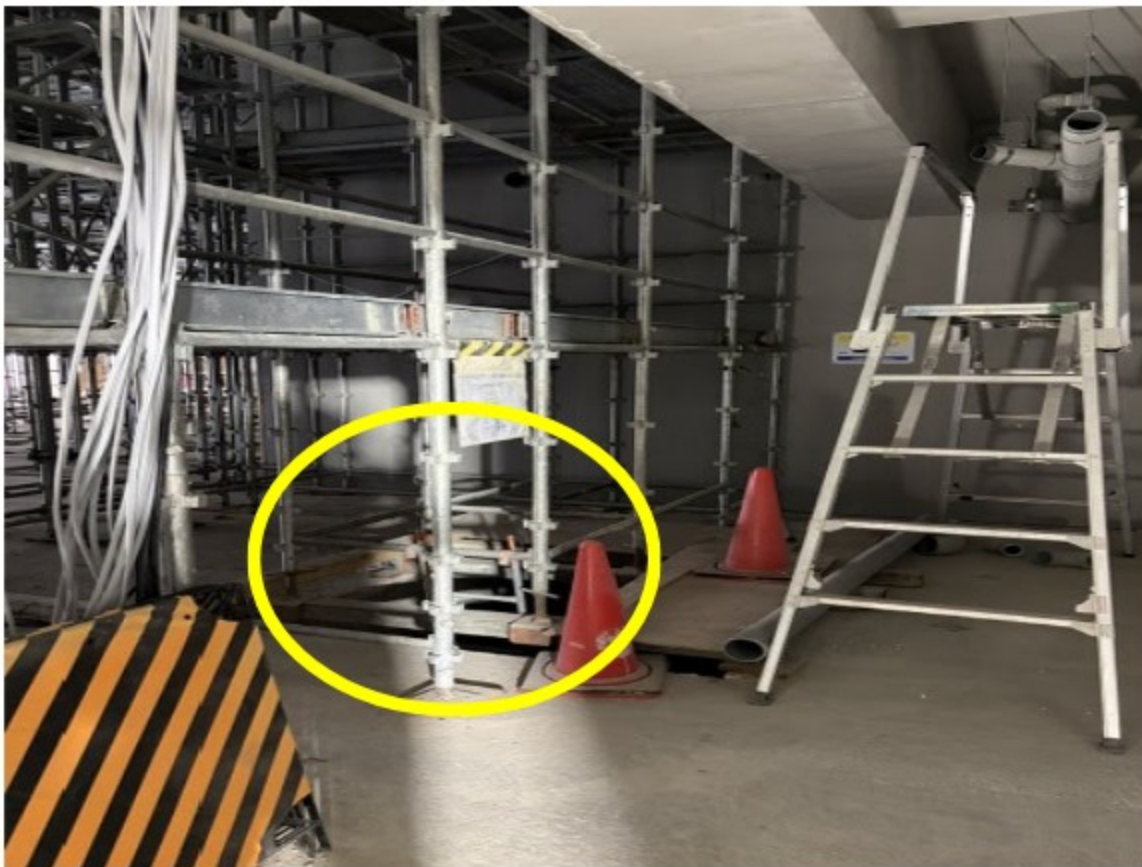
【1階 配管ダクト・配線の様子】

ここは、水難救助資機材庫・タイヤ庫の部分ですが、天井には配管や配線が入り始めています。



【1階 車庫の水難訓練用のピット】

新庁舎には、水難救助隊用の訓練施設があります！まだわかりにくいですが、ここがその場所のようです。



マル枠で囲った部分がピット部分になります。



ピットを覗き込んだら、かなり深いことがわかりました。

【2階 仮眠室部分の様子】

2階は主に交代勤務職員の仮眠室になります。これから仕切りが造られ個室が出来上がっていく予定です。



【2階 訓練スペースと物品庫】

ブロックで囲われた向こう側が訓練スペースになる予定です。

左奥側は物品庫の予定です。新庁舎は収納スペースが充実していて使い勝手がよさそうですね！



【3階 事務室の様子】

3階は、主に事務室と会議室になります。
まだ、ガランとしています。これから事務室と会議室の壁ができて行く予定です。
新庁舎では、予防課と警防課の事務室が1フロアになります。



こちらの黄色枠で囲った部分が「署長室」になる予定です。



【3階 会議室部分】

新庁舎は、会議室や打合せスペースが充実してます。東消防団専用の本部会議室もできる予定です。

※ これで打合せスペースを取り合うことはなくなりそうです！（笑）



【3階 待機室部分】

こちらは、事務室の隣に造られる交代勤務職員が食事を取ったり、休憩したりする部屋になる予定です。

窓が大きく快適に過ごせそうですね。



【3階 訓練スペース】
3階にも訓練スペースができます！

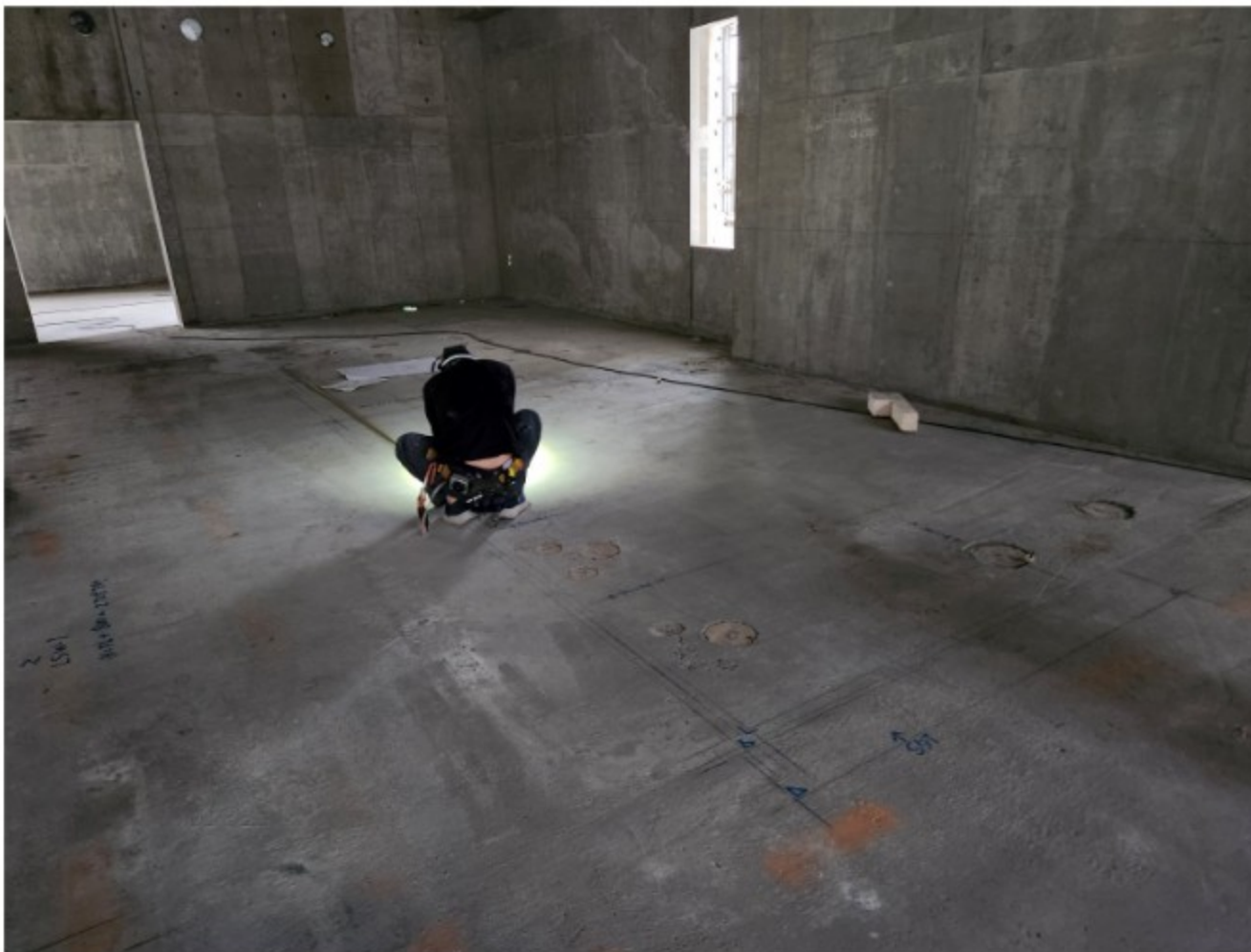


ちょうど、予防課の車庫の上に位置している部分になる予定です。



【3階 トイレ部分】

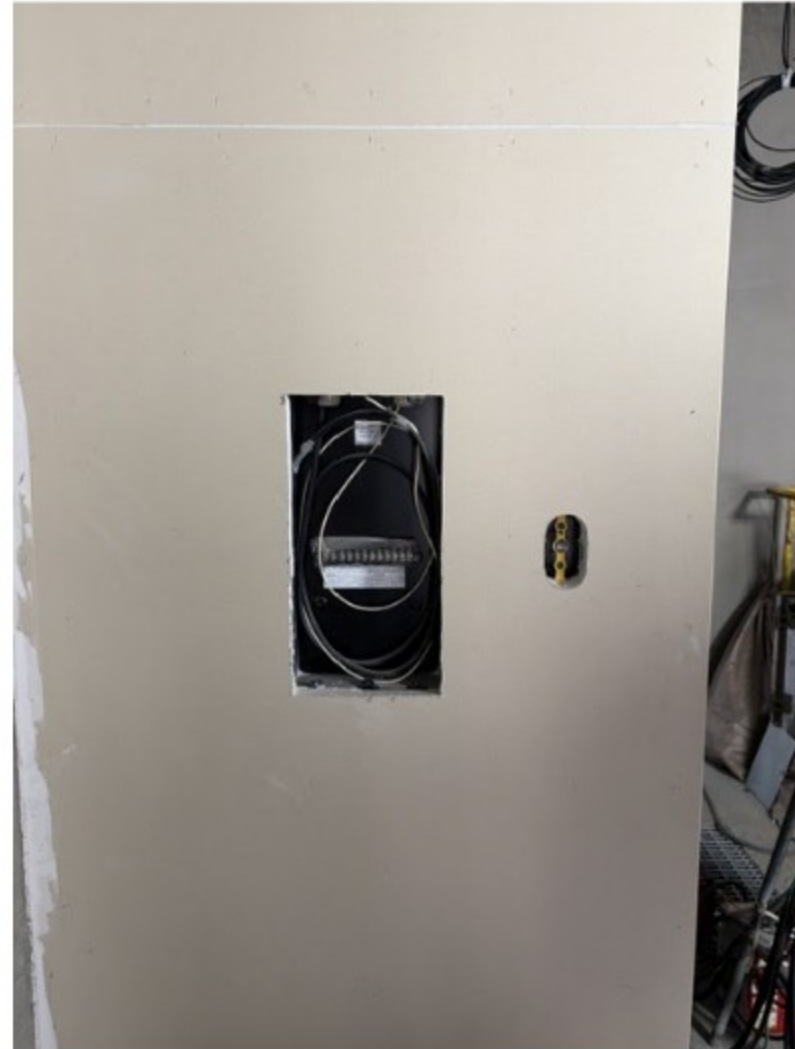
少々わかりにくいですが、これから排水口が入るための丸い穴がいくつも開いてました。どのようなトイレになるか想像できませんが、職人さんは完成図をイメージしているようで、手際よく真剣に作業してました！



○ 令和8年（2026年）7月17日撮影

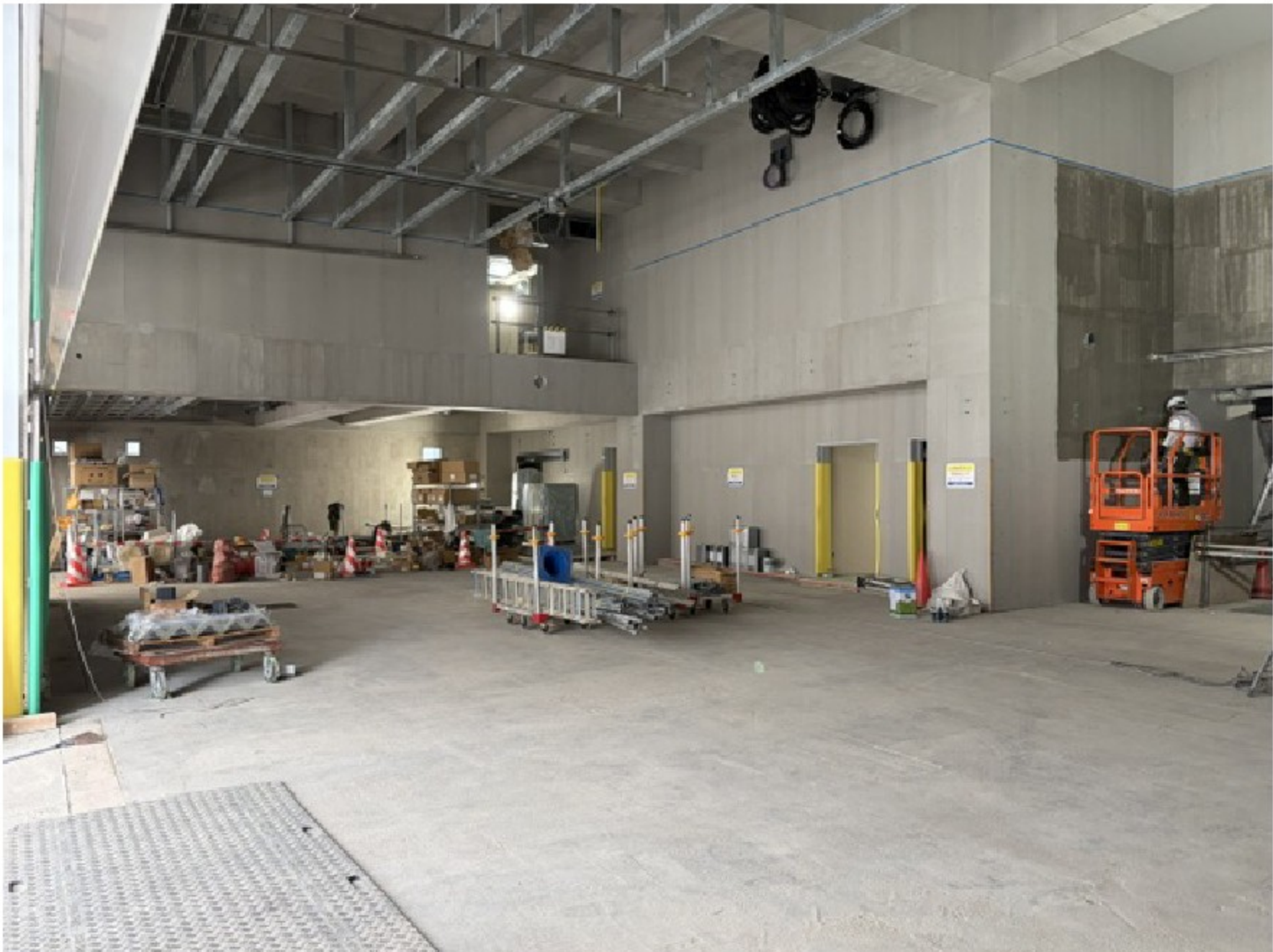
【1階 玄関ホール】

ホールにあるエレベーターの様子です。ついにエレベーターのドアが施工されました。壁ボードの施工、壁ボード内の配線関係も順調に仕上がってきました。



【1階 車庫】

これまで足場が設置されていましたが、ついに足場が解体され、その全体像が見えてきました。





オーバースライダーが設置され、車庫らしくなってきましたね。

手前が大きな消防車用で、奥側が指揮車や救急車が入るのでしょうか？

足場がなくなると、とても広い車庫に感じます！

【2階 仮眠室部分の様子】

こちらは交代勤務職員が仮眠をとる部分です。あっという間に壁が立ち上がり、個室が出来上がってました。断熱材もみっちみちに入ってたので、間違いなく快適に仮眠がとれますね！



【2階 荷揚げスペースの様子】

1階車庫からタイヤなどの重い資機材を引き上げるための専用スペース！
『階段で運ばなくていいんだ...』という隊員たちの安堵の笑顔が目に浮かびますね（笑）。



【3階 事務室の様子】

3階は主に事務室と会議室になります。新庁舎の目玉は、『予防課』と『警防課』が同じワンフロアに集結すること！物理的な壁もなくなり、風通しもコミュニケーションも抜群のオフィスになりそうです。今はまだガランとしていますが、ここで賑やかに働く姿が楽しみです。



【4階 講堂の様子】

最上階の4階に広がるのは、初公開の「講堂」です！
実はこの講堂、パーティションで2分割することができる機能を搭載しています。「右は研修、左は打ち合わせ」と瞬時に切り替え可能です。

講堂は高速道路（札樽道）よりも高い位置になるので、眺望は抜群です！



【講堂の全体像】



【4階共用ホールから講堂の入口】

○ 令和8年（2026年）8月12日撮影

【1階 玄関ホール】

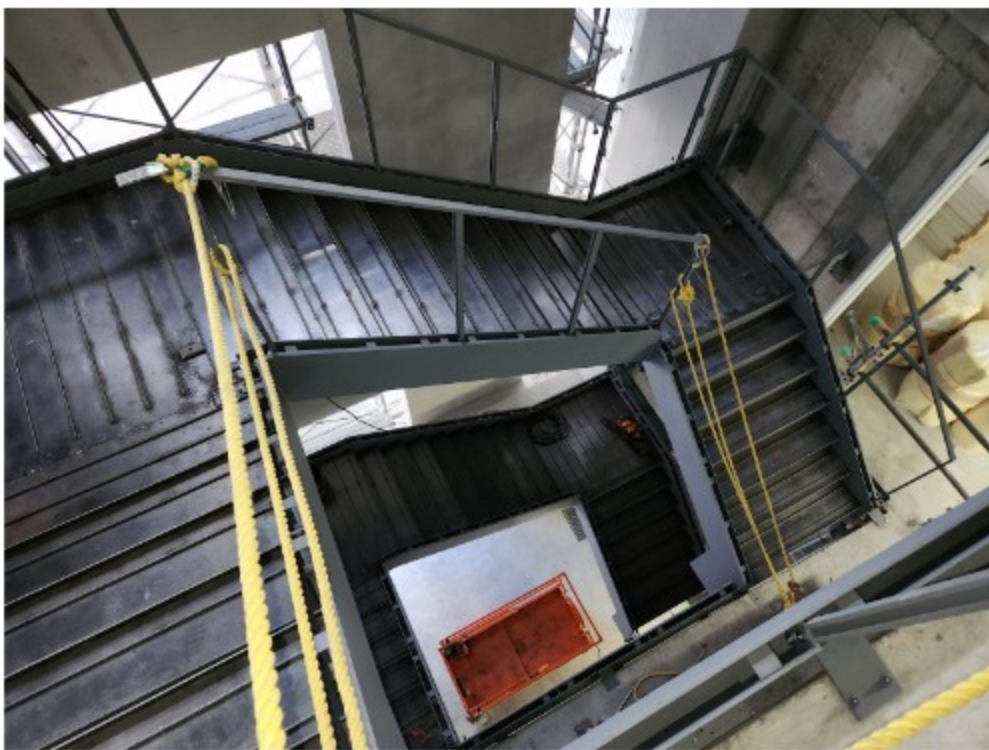
3階事務室までつながる階段部分を工事中です！ エレベーターを使わずに運動習慣をつけたい職員や来庁者の方は、ぜひご活用ください。 また、庁舎の顔となる玄関も初公開です！



【正面玄関の自動ドア】

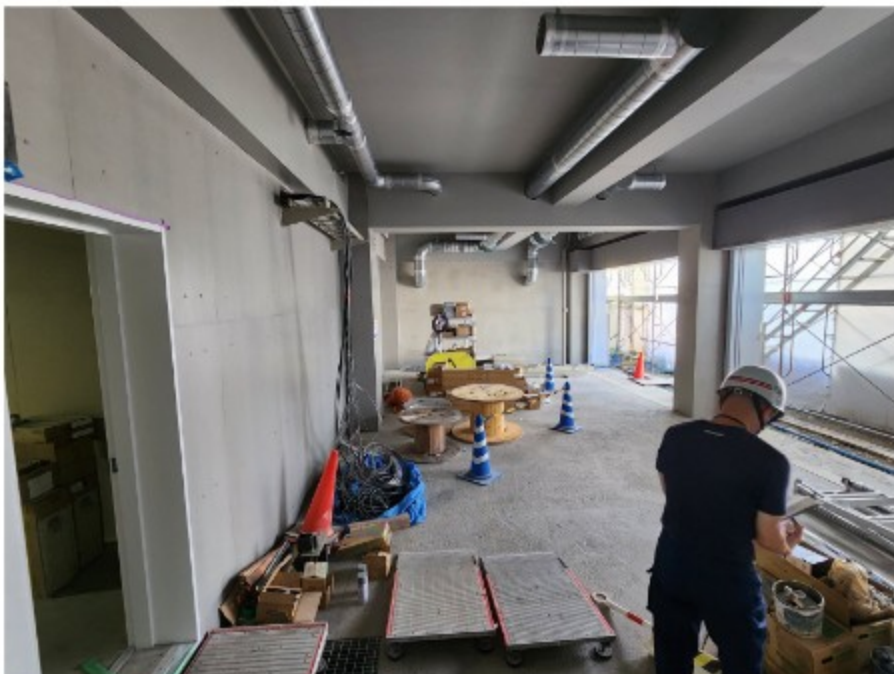


1階部分には、まだ階段が出来上がってませんが、2階～4階部分は設置されました。



【1階 業務車用の車庫と資機材保管庫の様子】

左の写真が、東消防団の消防車「まもるん」と業務用の車両が入る車庫です。右の写真が、災害で使用する様々な資機材を保管する場所です。「広い！」



【業務車用の車庫】



【資機材保管庫】

【2階 仮眠室部分の様子】

内装の仕上げ工事が進み、仮眠室もベッドやロッカーなどの配置がイメージできるようになりました。シャワー室も完備され、24時間勤務の職員が快適に過ごせる環境が整ってきています



【両側が各仮眠室です。】



【各個室内部の様子】

【2階 訓練スペースの様子】

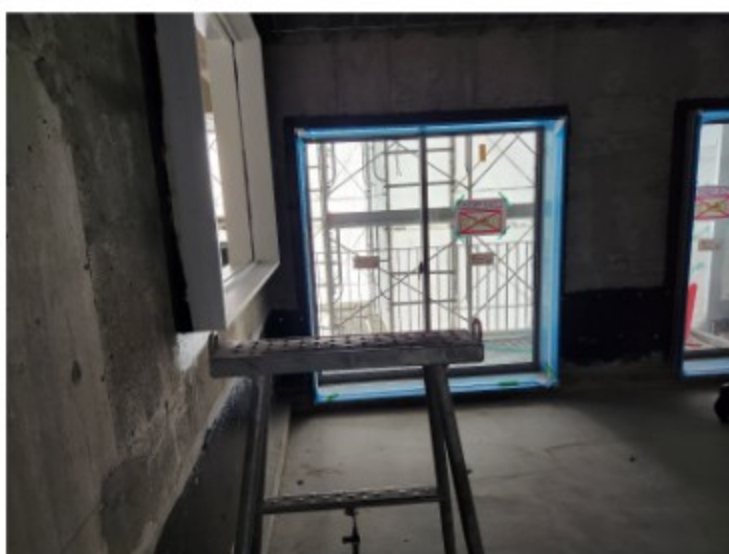
2階部分には訓練スペースが整備されました。この訓練スペースは2階の共用ホールから一般の来庁者も見ることができ、運が良ければ訓練に励む消防隊員の姿を間近で見られるかもしれません...!?



【訓練スペースの内部です。】



【訓練スペースへ至る階段】



訓練スペースは、車庫1階からスチール階段を上ったところにあります。

訓練スペースにはベランダも設置されているため、外からはしごをかけて、中に入ることもできます。

【3階 待機室の様子】

間仕切りができたことで、憩いの待機室の全貌がかなり鮮明になってきました。クリーム色の壁付近に、みんなが楽しみにしているキッチンが設置される予定です。まだ工事中にもかかわらず、どこからともなく美味しそうな料理の匂いや楽しげな声が聞こえてきそうです。



【4階 屋上の様子】

4階には講堂や訓練スペースのほか、庁舎を支える変電設備とソーラーパネルがずらりと並びます。高い省エネ性能を誇る新庁舎には、屋上に設置している南向きのソーラーパネルが年間を通じて太陽光を効率よくキャッチして、庁舎の活動をエネルギーの面から力強くサポートします。



【変電設備】



【ソーラーパネル】

○ 令和8年（2026年）9月4日撮影

【新庁舎正面全景】

車庫側の足場とシートが取り払われ、まだ一部分ですが、新庁舎の外観がお披露目となりました！建物を引き締める赤色のアクセントラインが加わり、完成への期待が高まります。



【地下タンク貯蔵所】

停電時の電力維持を担う、非常用発電機用燃料タンクの据付作業の様子です。

この後は土で埋め戻されてしまうため、タンクの姿が地上で見られるのは**今だけ！**建設中ならではのレアなショットです！



このタンクは「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」と言われるもので、タンクの表面はエポキシ樹脂でコーティングされているので、地中に埋めても腐食せず、燃料が漏れ出す心配はありません。

【2階 訓練スペース】

壁が出来上がってきました。ここは日々の訓練で使用されるスペースということもあり、見た目からも頑丈な造りになっていることが伝わってきます。



【4階 講堂】

天井にボードが張られました。天井裏の構造が隠れて見えなくなり、かなりスッキリとしてきました。だんだんと完成後の「講堂」のイメージが湧いてきますね。

